

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-27

甲第三十七号

(発行年 / Year)

1910

(參照)二六八附一三三、第一五五三二項同二章五四二、二項
第六百四條 使用貸借ハ借主ノ死亡ニ因リテ其效力ヲ失
フ

(參照)取一九六佛一八七九附一七八〇、伊一八〇七、葡一五〇
九瑞債務法三二八四一七四二、白草一九六四二項、葡一章五
五七三號同二章五四五三號

第六百五條 前六條ノ規定ハ別段ノ定アル場合ニハ之ヲ
適用セス

(參照)取一九六白草一九六四二項

第六百六條 契約ニ反スル使用ニ因リテ生ジタル損害賠
償ノ請求及ヒ第六百條第二項ノ規定ニ依ル費用償還ノ
請求ハ貸主カ返還ヲ受ケタル時ヨリ六个月内ニ之ヲ爲
スコトヲ要ス

(參照)澳九八二、葡一五二二、葡二章五四六

秘

甲第三十七號

明治二十八年六月十一日配付

第七節 賃貸借

第一款 總則

第六百四條 賃貸借ハ當事者ノ一方カ或物ヲ相手方ニ使
用セシムルコトヲ約シ其相手方カ借賃ヲ支拂フコトヲ
約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

(參照)附一一五一一七、佛一七〇九、澳一〇九〇乃至一〇九四
附一五八四、伊一五六九、葡一五九五、一六〇三、瑞債務法二七
四、二九六、西一五四三、葡二章四八〇、五二二、加一九二五、九七
九

第六百五條 管理行爲ヲ爲ス能力又ハ權限ヲ有スル者カ
賃貸借ヲ爲ス場合ニ於テハ其賃貸借ハ左ノ期間ヲ超ユ
ルコトヲ得ス

- 一 山林ニ付テハ十年
- 二 其他ノ土地ニ付テハ五年

秘

三 建物ニ付テハ三年

四 動産ニ付テハ六個月

(參照) 財一〇九一、二〇二二、三佛一四二九、一七一八、伊一五七二、葡二二四一、四號二四三六、號二六五二、六六一五、九七、一五九八、一六〇二、一六〇二、西一五四八

第六百六條 前條ノ期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間滿了前土地ニ付テハ一年建物ニ付テハ三個月動産ニ付テハ一個月内ニ其更新ヲ爲スコトヲ要ス

(參照) 財一〇〇佛一四三〇、一七一八

第六百七條 質貸借ノ存續期間ハ十年ヲ超ユルコトヲ得ス若シ之ヨリ長キ期間ヲ以テ質貸借ヲ爲シタルトキハ其期間ハ之ヲ十年ニ短縮ス

前項ノ期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得但更新ノ時ヨリ十年ヲ超ユルコトヲ得ス

(參照) 財一〇二五、伊一五七一、葡一六〇〇、獨二章五〇、八

第二款 質貸借ノ效力

第六百八條 不動産ノ質貸借ハ之ヲ登記シタルトキハ其不動産ニ付キ物權ヲ取得シタル者ニ對シテモ其效力ヲ生ズ但敷金又ハ借賃ノ前拂ヲ以テ之ニ對抗スルコトヲ得ス

(參照) 財二二三號三四八一號佛一七四三乃至一七五一、澳一〇九五、一〇二二、一一二、一、葡一六一九乃至一六一四、伊一五九七乃至一六〇二、葡一六一九乃至一六二二、瑞債務法二八、一、三、一四、オシテテゴロ二九〇乃至二九二、西一五四九、一五七、一、一五七、二、獨一章五〇九乃至五一二、同二章五一、二乃至五二〇

第六百九條 質貸人ハ質貸物ノ使用ニ必要ナル修繕ヲ爲ス義務ヲ負フ

質貸人カ質貸物ノ保存ニ必要ナル行爲ヲ爲サント欲スルトキハ質借人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

(參照) 財一〇二八、一、二九、一、項佛一七一、九、二、號一七二〇、一七二四、一、項一七五四、澳一〇九六一、一、八、葡一五八六、二、號一五八七、一、五九一、一、項一六一九、一、六二〇、伊一五七五、二、號一五

七六一五八〇、一項一六〇四乃至一六〇六葡一六〇六一六
 一、瑞債務法二七六二七八二八二二項二九七三〇〇、三〇
 一三〇四、モンテチタロ二七二、二七三、二七五、二八〇、二九九
 西一五五四二號一五五八一項一五八〇、獨一章五三、五五、同二
 章四八一、四八三、五二、五二六乃至五二九五、三四加一九四
 一、一九四二、一九五五乃至一九五七、紐章九九〇、九九一、九九
 九乃至一〇〇一

第六百十條 貸貸人カ賃借人ノ意ニ反シテ保存行爲ヲ爲

サント欲スル場合ニ於テ之カ爲メ賃借人カ賃借ヲ爲シ
 タル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ賃借人ハ契約ノ
 解除ヲ爲スコトヲ得

(參照) 附一二九二項佛一七二四二項三項澳一一一七葡一五
 九一二項三項伊一五八〇葡一六〇六三號瑞債務法二七八
 二九七七、モンテチタロ二八〇西一五五八二項三項葡二章四
 八二四八七

第六百十一條 賃借人カ賃借物ニ付キ賃貸人ノ負擔ニ屬

スル必要費ヲ出タシタルトキハ賃貸人ニ對シテ直チニ

其償還ヲ請求スルコトヲ得

賃借人カ有益費ヲ出タシタルトキハ賃貸借終了ノ時ニ
 於テ第九十七條第二項ノ規定ニ從ヒ其償還ヲ請求ス
 ルコトヲ得但裁判所ハ賃貸人ノ請求ニ因リ相當ノ期限
 ヲ許與スルコトヲ得

(參照) 附六九一項二項一二六澳一〇九七葡一六一一一六一
 四一六一五瑞債務法三一二三項三一三二項三一五一項三
 一七三項三一八三項モンテチタロ二九四獨一章五一三三五
 一四同二章四八三二項四九一五三二加一九四二一九五六
 一九五七

第六百十二條 收益ヲ目的トスル土地ノ賃借人カ不可抗

力ニ因リ借賃ヨリ少ナキ收益ヲ得タルトキハ其收益ノ
 額ニ至ルマテ借賃ノ減少ヲ請求スルコトヲ得但宅地ノ
 賃貸借ハ此限ニ在ラス

(參照) 附一三一佛一七六九乃至一七七一澳一一〇四乃至一
 一〇八葡一六二八乃至一六三〇、伊一六一七乃至一六一九

葡一六一二一六三〇瑞債務法三〇八モンテチダゴ三〇三
西一五七五獨一章五三四

第六百十三條 前條ノ場合ニ於テ賃借人カ不可抗力ニ因
リ引續キ二年以上借賃ヨリ少ナキ收益ヲ得タルトキハ
契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

(參照) 葡一三二二項澳一一一七瑞債務法二九二三一一〇

第六百十四條 賃借物ノ一部カ賃借人ノ過失ニ因ラズシ
テ滅失シタルトキハ賃借人ハ其滅失シタル部分ノ割合
ニ應シテ借賃ノ減少ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ殘存セル部分ノミニテハ賃借人カ賃
借ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ賃借人
ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

(參照) 葡一三二二項一四六佛一七二二澳一一一七葡一五八
九伊一五七八葡一六一二瑞債務法二七七二項三九七
モンテチダゴ二七四加一九三二二號^註草九八六二號

第六百十五條 賃借人ハ賃貸人ノ承諾アルニ非サレハ其

權利ヲ讓渡シ又ハ賃借物ヲ轉貸スルコトヲ得ス但席貸
ヲ爲スハ此限ニ在ラス

賃借人カ前項ノ規定ニ反シ第三者ヲシテ物ノ使用ヲ爲
サシメタルトキハ賃貸人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

(參照) 葡六八一三四一三五佛一七一七六三二七六四澳
一〇九八葡一五九五伊一五七三葡一六〇五瑞債務法二八
五三〇六モンテチダゴ二八五一項二九七西一五五〇白草
一七五五一七五六獨一章五一六五三三回二章四九三四九
四四九七一項一號五三六一項書一部二一章三〇九案一一
九四

第六百十六條 賃借人カ適法ニ賃借物ヲ轉貸シタルトキ

ハ轉借人ハ賃貸人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ
於テハ借賃ノ前拂ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ズ
前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使ス
ルコトヲ妨ケス

(參照) 三一一一葡一三四三項葡一五〇二項佛一七五三澳一一

○一、附一六一八、伊一五七四、葡一六〇五、瑞債務法二八五二
項三、三〇六二、項モシテ、グロ二八五二、項西一五五〇、乃
至一五五二、獨二章四九三二、項四九八三、項

第六百十七條 借賃ハ、動産建物及ヒ宅地ニ付テハ、毎月末
ニ其他ノ土地ニ付テハ、毎年末ニ之ヲ拂フコトヲ要ス。但
收穫季節アルモノニ付テハ、其季節後遲滞ナク之ヲ拂フ
コトヲ要ス。

(參照) 附一三八佛一七二八二號、澳一一〇〇、附一五九六二號、
伊一五八三二號、葡一六〇八一號、瑞債務法二八六三〇七モ
シテ、グロ二八二三〇二、西一五五五一號、一五七四、獨二章
四九五五二四、加一九四七紐章九九六

第六百十八條 建物ノ借賃人ハ、二期ノ借賃ヲ擔保スルニ
足ルヘキ動産ヲ其建物ニ備附クルコトヲ要ス。但二期ノ
借賃ヲ前拂シ又ハ之ニ相當スル擔保ヲ供シタルトキハ
此限ニ在ラス。

(參照) 附一四八佛一七五二一七六六、蘭一六一七一六二五、伊

一六〇三、一六一五

第六百十九條 借賃物カ修繕ヲ要シ又ハ借賃物ニ付キ權
利ヲ主張スル者アルトキハ、借賃人ハ、遲滞ナク之ヲ貸貸
人ニ通知スルコトヲ要ス。

(參照) 附一四二二項佛一七二七七一七六八、蘭一五九四一六二
七、伊一五八二一五八七、葡一六〇八四號、瑞債務法二八四三
〇五モシテ、グロ二八一、西一五五九、獨二章四八九、加一九
四八紐章九九七

第六百二十條 第五百九十六條第一項、第五百九十九條第
一項及ヒ第六百條ノ規定ハ、貸賃借ニ之ヲ準用ス。

(參照) 附一五八、乃至六六六、九三、項七〇、一、二、六、一、三、三、一、四
一、一、四三、一、四四、佛一七二三、一七二八、一號、澳一〇九八、一
〇九、蘭一五九〇、一五九六一號、一六〇三、伊一五七九、一五八
三一號、一五八五、葡一六〇八三號、五號、一六一四、一六一六、一
六二七、瑞債務法二八三、三〇三、三一七、三一八、モシテ、グロ
二七八二、九三、二九八三、一〇、西四八七、四八八、一五五五二號
一五五七、一五六、一、一五七三、獨一章五二〇、同二章四九一、二

項四九八五二三、五二七乃至五二九、五三一、五三四、加一九二
五一九二六一九三〇、一九五八、紐章九七九九八〇、九九八四一
〇〇二

第六百二十一條 前十二條ノ規定ハ別段ノ定アル場合ニハ之ヲ適用セス

(參照)附五九一二六一二八、五項一三一、一項一三四、一三八一
項佛一七一七、一七二八、二號一七五四、一七五六、一七六三、一
七七二、一七七三、澳一〇九八一、一〇〇、蘭一五九五一、五九六
二號、一六一九、二項一六二〇、一六三〇、一六三二、伊一五七三
一五七六、二項一五八三、二號一六〇四、一六二二、一六二一、葡
一六〇五、一六〇八、一號一六一二、一六一一、一項一六三〇、瑞
債務法二八二、二項二八六、三〇四、二項三〇七、三〇八、
チドロ二七二、二七三、二八二、一項二八五、一項三〇〇、三〇二、
一項三〇三、一項西一五五〇、一五五五、一號一五七四、一五七
五、一項一五八〇、獨一章五一六、加一九四七

第三款 質貸借ノ終了

第六百二十二條 當事者カ質貸借ノ期間ヲ定メザリシト

キハ各當事者ハ何時ニテモ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ得
此場合ニ於テハ質貸借ハ解約申入ノ後左ノ期間ヲ經過
シタルニ因リテ終了ス

- 一 土地ニ付テハ一年
 - 二 建物ニ付テハ一個月
 - 三 貸席及ヒ動産ニ付テハ一日
- 收獲季節アル土地ノ質貸借ニ付テハ其季節前ニ解約ノ
申入ヲ爲スコトヲ得ス

(參照)附一四五、一項五號、一四八、一四九、一五一、佛一七三六一
七五七、一七五八、一七七四、一七七五、澳一一一六、蘭一六〇七、
一六二二、一六二二、一六三三、伊一六〇七乃至一六〇九、一六
二二、一六二三、葡一六二三、一六二八、一六二九、瑞債務法二八
九二九〇、三〇九、
チドロ二八六、二八七三〇、五西一五
七〇、一五七七、一五八一、一五八二、獨二章五〇六、五〇七、五三
五、加一九四三、一九四四、紐章九二、九三

第六百二十三條 當事者カ質貸借ノ期間ヲ定メタルモ其

一方又ハ各自カ其期間内ニ解約ヲ爲ス權利ヲ留保シタルトキハ前條ノ規定ニ依ル

(參照) 附一五四、佛一七六一、一七六三、蘭一六一五、一六一六、伊一六一二、一六一三

第六百二十四條 質貸借ノ期間滿了ノ後質借人カ質借物ノ使用ヲ繼續スル場合ニ於テ質貸人カ之ヲ知りテ異議ヲ述ヘサルトキハ前質貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ質貸借ヲ爲シタルモノト推定ス但各當事者ハ第六百二十二條ノ規定ニ依リ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ得

前質貸借ニ付キ當事者カ擔保ヲ供シタルトキハ其擔保ハ期間ノ滿了ニ因リテ消滅ス

(參照) 附一四七、一四九乃至一五一、佛一七三八乃至一七四〇、一七五九、一七六六、澳一一一四、一一五、蘭一六〇八乃至一六一〇、一六二三、一六三四、伊一五九二乃至一五九四、一六一〇、一六二四、葡一六一八、一六二四乃至一六二六、瑞債務法二九一三、一、モンテネグロ二八八三〇六西一五六、一五六

七、獨二章五〇九加一九四五一九四六、紐章九九四九九五

第六百二十五條 質貸借ヲ解除シタル場合ニ於テハ其解

除ハ單ニ當事者雙方ノ將來ノ權利義務ヲ消滅セシム但

當事者ノ一方ニ過失アルトキハ之ニ對スル損害賠償ノ

請求ヲ妨ケス

(參照) 附一四五二項、佛一七六〇、伊一六一一、西一五五三二項

獨一章五二八同二章四九七

第六百二十六條 前四條ノ規定ハ別段ノ定アル場合ニハ

之ヲ適用セス

(參照) 附一五二、佛一七三六、一七五七、一七五八二項、一七五九

一七六一、一七六二、蘭一六〇七、一六一五、一六一六、一六二一、

一六二二、二項一六二三、伊一六〇七、一六〇八二項、一六〇九

一六一〇、一六一三、葡一六一八、一六二二、一六二八、一六二九

瑞債務法二九〇、二九一、三〇九三、一、モンテネグロ二八七

二八八三〇五、獨二章五〇九加一九四三、紐章九九二

第六百二十七條 質借人カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ

貸借ニ期間ノ定アルトキト雖モ貸貸人又ハ破産管財人ハ第六百二十二條ノ規定ニ依リ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テ各當事者ハ相手方ニ對シテ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

(參照)商九九三佛商四五〇五五〇 澳破産法二三伊商七〇三三 瑞債務法二八八三一五

第六百二十八條 契約ニ反スル使用ニ因リテ生シタル損害賠償ノ請求及ヒ第六百十一條ノ規定ニ依ル費用償還ノ請求ハ貸貸人カ返還ヲ受ケタル時ヨリ一年内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

(參照)澳一〇九七一・一一二・モンテチダロ二九六獨二章五〇〇



甲第三十八號

明治二十八年六月二十二日配付

第八節 雇傭

第六百二十九條 雇傭ハ當事者ノ一方カ相手方ニ對シテ勞務ニ服スルコトヲ約シ其相手方カ之ニ報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

(參照)取二六〇二六六商五八佛一七一〇・一七七九一七八〇、澳一一五・一一六三一・一七三、蘭一五八五伊一五七〇、葡一三七〇・一三九一、一四〇九瑞債務法三三八三三九三四八、モンテチダロ三二九三三〇、白章一八四〇・一八四一、獨一章五五九同二章五五、普國法一部一一章八六九八七〇・八七五

第六百三十條 勞務者ハ其約シタル勞務ヲ終ハリタル後ニ非サレハ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス

期間ニ依リテ定マリタル報酬ハ其期間ノ經過シタル後之ヲ請求スルコトヲ得

(參照)五三一澳一一五六瑞債務法三四〇、モンテチダロ三三三